

# ひろの

## 議会だより

がんばって  
進もう！  
夢と挑戦の未来へ

### 議員定数2人削減決まる

(議会議員定数調査特別委員会) ……2

3月定例会のあらまし ……4

追跡レポート(太陽光発電システム補助金) ……16

中学生海外派遣事業の早期再開を(研修報告) ……20

「幼保一元化」の実現を要望(委員会報告) ……17

町の財政運営を問う(2議員が一般質問) ……25

広野町サポートファミリー(まちかどインタビュー) ……28

# No.90

# 委員全員が賛成！ 議員定数は14人から12人へ



2人削減を提案する中津伸一委員長

## 3月 定例会

広野町議会は3月14日、議員発議による「広野町議会議員定数の一部を改正する条例」を全会一致で可決し、議員定数を2人削減することを決めました。

同議会は、平成17年9月に「広野町議会議員定数に関する調査特別委員会」を設置し、これまで5回にわたり議員定数に関して調査してきました。

本会議では、猪狩新一郎議員が改正案を提出し、全議員が賛成者に名を連ねました。猪狩議員は「行財政改革をいっそう促進するため議員自ら決断した」といった提案理由の説明をしました。

改正された条例は、平成19年4月に実施予定の統一地方選挙から施行されます。

### 議会議員定数に関する 調査特別委員会報告

■第3回委員会（平成18年1月18日開催）  
それぞれの委員に議員定数を何名にするか意見を聞いたところ、現状維持の14人が3人、2人減の12人が7人、4人減の10人が1人と意見が3つに分かれました。

議員の身分に関することを議員自ら襟を正し、真摯に議論する姿を見て、各議員が一致して同じ方向性を見いだせるよう努めなければならぬと感じました。

地方自治の根幹に関する問題でもあり、常任委員会の構成も含め、結論は次回に持ち越すことにしました。

#### ■第4回委員会（平成18年2月20日開催）

これまでの委員会をふり返り、その協議内容をふまえた上で結果をいつ出すのか、それぞれの委員に意見を聞いたところ、多くの委員から、今までの調査結果に基づき、委員長自ら定数を示して結論を出すべきという意見が出されました。

また、少数意見として、議員を減らすメリット、デメリットをもっと議論し、町政の監視役である議決機関の議員数を安易に減らすべきではないという意見もありました。

本委員会は、少数意見も考慮しながら、次回の委員会で結論を出すことにしました。

#### ■第5回委員会（平成18年3月1日開催）

今回の委員会で調査結果を出せば、3月定例会で議員発議により広野町議会議員定数条例の一部を改正する条例を議案として上程し、次回の一般選挙から適用させることができます。

また、次回の一般選挙は、平成19年4月であるため1年間の猶予期間があり、町民にも周知できるという考えから、これまでの調査の結果に基づいて、2人減の12人で調整したいと提案しました。

すべての委員に満場一致で賛成していただき、広野町の議会議員定数は12人になりました。

#### ■まとめ

議会議員定数に関する調査特別委員会は、議長を除く12人の議員が委員となり、議員の身分に関する問題を真摯に協議してきました。そして、5回目の委員会で、満場一致による結論を出せたことに対し、それぞれの委員に感謝申し上げます。

今後は12人の議員定数で町民の負託に応えられるよう全議員一丸となって調査・研究しなければなりません。

本委員会は、これをもって調査を終了しますが、使命は十分果たせたものと確信しています。

### 少数意見

議員定数を減らせば、議会費の削減といったメリットはあるが、逆に人数が減ることによって住民自治の観点から住民福祉は衰退し、行政の監視役としての機能や発言力も低下してしまう。

削減すべきという町民の意見は大切であり、時代の流れなのかもしれないが、もう少し議論しても良かったのではないかと。

# 町長施政方針

## 基本施策は6つの柱

平成18年度は、公平・公正な町政と、「豊かで町民に優しい、安心・安全で住みよい町づくり」のため、本町の自然環境や人材、文化・スポーツ、公園施設などの財産を有効に活用しながら、「豊かで夢と希望に満ちて誇れる町づくり」の実現に向け、全力を尽くします。

- 保健福祉の社会を実現するまちづくり
- 生活環境の整備
- 交流活動事業
- 教育関連事業
- 人材育成プログラム支援事業
- 行財政改革

(※詳しくは、町広報紙をご覧ください。)



平成18年度予算を全会一致で可決

# 第2子以降の「出産祝金」を増額!

第1子(5万円)、第2子(10万円)、第3子(15万円)



平成18年第1回定例会は、3月10日から16日までの7日の会期で開かれました。町長から町政全般についての経過報告ならびに新年度に向けての施政方針が述べられるとともに、一般会計・特別会計補正予算、18年度予算、広野町国民保護協議会条例、町長等の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例、広野町出産祝金支給条例の一部を改正する条例など、提出された27の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、一般質問では塩史子議員と松本浩司議員が、町長の政治姿勢等について問いただしました。

## 地方債残高(町の借金) 平成17年度末見込

地方債(一般会計)	27億6,182万円
広野町簡易水道事業債	2億8,768万円
広野町下水道事業債	21億9,214万円
農業集落排水事業債	4億2,690万円
<b>合計</b>	<b>56億6,855万円</b>
<b>町民1人当たりの借金</b>	<b>約100万円</b>

## 基金・積立金残高(町の貯金) 平成17年度末見込

財政調整基金	4億9,220万円
電源立地促進対策交付金施設維持基金	3億4,687万円
奨学資金貸与基金	1億5,025万円
文化およびスポーツ振興基金	6,922万円
ふれあい福祉基金	1億2,385万円
国民健康保険基金	2,090万円
ふるさと水と土保全基金	2,051万円
介護給付費準備基金	5,107万円
その他の基金の計	8,650万円
積立金(預金)	3億2,905万円
<b>合計</b>	<b>16億9,046万円</b>
<b>町民1人当たりの貯金</b>	<b>約30万円</b>

施政方針を述べる町長

## 会計別予算額

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	46億1,867万円	△0.6%
国民健康保険特別会計	5億1,899万円	4.5%
土地開発事業特別会計	1,743万円	△13.2%
老人保健特別会計	6億3,713万円	△3.6%
公共下水道事業特別会計	2億3,645万円	△0.8%
農業集落排水事業特別会計	3,482万円	2.6%
介護保険特別会計	2億4,801万円	3.1%
<b>合計</b>	<b>63億1,154万円</b>	<b>△0.4%</b>

※金額は、全て千円未満を切り捨てて表示しています。

# じこなじこが

## 決まりました

—— 条例制定・改正など ——

**町長・助役・収入役・教育長の給与が3割削減されました**

厳しい町の財政運営や長期的な経済不況、雇用環境の低迷等による町民生活の実情を考慮して、3役ならびに教育長の給与が減額されました。

これにより、給料月額は、町長は51万9,000円に、助役は40万1,000円に、収入役は38万円に、教育長は37万3,000円に、それぞれ改められました。

**役場職員の給与が平均で4・8%引き下げられます**

昨年の人事院勧告で公務員の給与水準を引き下げる勧告が出されたことにもない、役場職員の給料表ならびに昇格・昇級制度が改正され、給与が平均で4・8%引き下げられることになりました。

**第2子以降の出産祝金が増額されました**

子供を生み・育てる環境と安心感を担保する支援策として、出産日以前に6ヶ月以上広野町に居住している方に対し、第1子で5万円、第2子で10万円、第3子以降で15万円、それぞれ出産祝金が支給されることになりました。

**介護保険法の改正により介護保険制度が変わりました**

4月1日から介護保険制度の見直しが行われることから、所要の

**二ツ沼総合公園に「ふれあいドーム」と「パークギャラリー」が完成しました**

二ツ沼総合公園内に整備していた「ふれあいドーム」と文化交流施設「パークギャラリー」が完成したため、新たに両施設の利用料金等が決まりました。

利用料金は、「ふれあいドーム」が夜間照明設備代として1,050円(1時間)、文化交流施設「パークギャラリー」が展示ホール利用料金として全室1,050円、1室525円です。

**広野町で武力攻撃や大規模なテロなどが発生した場合に備えます**

国民保護法(※)が平成16年9月に施行されたことにもない、広野町で国民保護措置に関する計画や施策を推進する協議会を組織・設置するために、「広野町国民保護協議会条例」ならびに「広野町国民保護対策本部および緊急対処事態対策本部条例」が制定されました。

**※国民保護法**

「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」のことで、武力攻撃や大規模なテロなどが発生した場合に、国民の生命・身体および財産を保護し、武力攻撃等に対処する被害を最小にするため、国・県・市町村などの役割や具体的な国民保護措置の内容等について定めています。

条例を改正しました。

今回の改正のポイントは、①予防重視型システムへの転換 ②利用者負担の見直し ③新たなサービス体系の確立 ④サービスの質の確保・向上 ⑤制度運営・保険料の見直しなどです。

**指定管理者制度の導入にともない、広野町老人福祉センター、広野町老人デイサービスセンター、広野町在宅介護支援センターの管理運営を行わせる団体は社会福祉法人広野町社会福祉協議会になりました。**

**広野町二ツ沼総合公園の指定管理者は広野町振興公社に決定**

指定管理者制度の導入にともない、広野町二ツ沼総合公園の管理運営を行わせる団体は株式会社広野町振興公社になりました。



トイレを増設して使いやすい「広桜荘」

**保健福祉の充実**

**事業概要**

- デイサービスセンタートイレ改修増設事業費 1,360万円
- 出産祝金の増額 300万円
- 障害福祉計画策定事業委託料 230万円

**生活環境の整備**

**事業概要**

- 道路新設改良費 3億202万円
- 合併浄化槽設置整備事業補助金 1,053万円
- 振興作物生産奨励補助金 290万円
- 住宅用太陽光発電システム設置事業補助金 60万円



歩道整備が予定されている町道「桜田~久保線」



4月29日二ツ沼総合公園リニューアルオープン

**教育関連事業**

**事業概要**

- 海外教育交流事業調査費(旅費) 存目計上
- 小学校改修事業 1億1,902万円
- 奨学資金貸与事業 2,341万円

**交流活動事業**

**事業概要**

- 二ツ沼総合公園施設等管理運営費 8,526万円
- 第11回パークゴルフ東北大会実行委員会 200万円
- 町民号運行事業費 539万円



改修工事が行われる広野小学校

## 意見書を国に提出 道路整備財源の拡充を強く要望

### 議員発議（道路財源の確保に関する意見書）

提出者 渡邊 正俊

賛成者 松本 浩司、塩 史子



開通が待たれる町道「中央台～山ノ神線」

#### 【要旨】

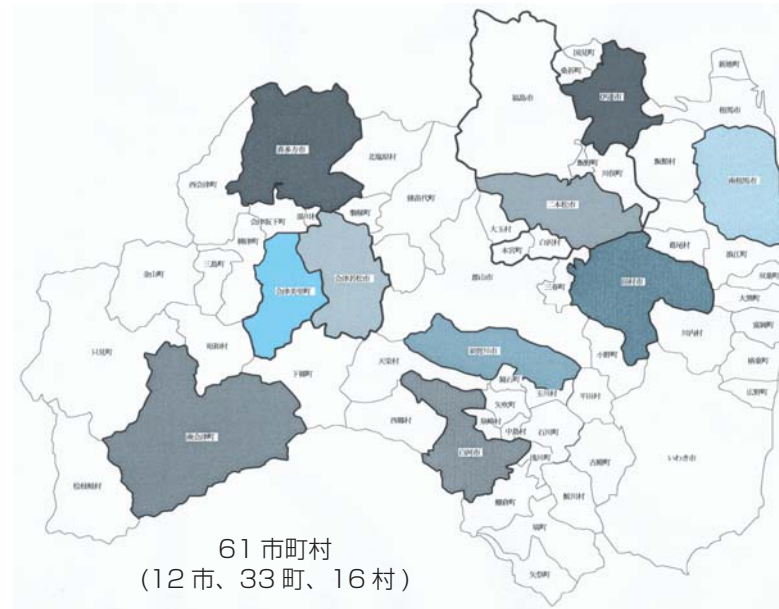
本町は、電力供給基地としてわが国の発展に重要な役割を果たしているが、これらの施設に密接に連携している幹線道路や生活道路は、交通量が増加して事故や交通渋滞が発生するなど、道路としての機能低下が顕著になっている。

安全で安心できる町民生活や電力供給基地としての有利性を生かした活力ある地域社会を形成するためには、高速道路をはじめ、幹線道路である国道・県道、生活に密着した町道を緊急かつ計画的に推進することが喫緊の課題である。

よって、国においては、道路整備が本町の発展に必要な不可欠であることを十分認識し、着実な道路整備に向けて安定的な道路財源を確保するとともに、地方公共団体の実情を勘案の上、配分割合を高めるなど、道路整備の財源が拡充されるよう強く要望する。

#### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣



61市町村  
(12市、33町、16村)

南会津町の誕生により福島県内の市町村数は61に減少しました

市町村合併により、3月20日から田島町、館岩村、伊南村および南郷村が「南会津町」になったことから、福島県市町村総合事務組合に加入している地方公共団体が増減するため、所定の手続きがおこなわれました。

## 第1回定例会人事

### 広野町助役に

#### 塚越義英氏

現町長就任以来の空席になっていた助役に、参事兼建設課長を務めていた塚越義英氏が就任しました。

同氏は、これまで総務課長をはじめ数多くの要職を歴任しており、助役として期待される見識と人格を備えているため、適任者として選任することに同意しました。

任期は4月1日から4年間です。



助役  
塚越 義英 氏

## 人材育成プログラム支援事業

### 事業概要

- サッカー国際人育成プログラム支援事業  
(男子寮およびクラブハウスの建設、  
屋内サッカーグラウンドの造成、その他)
- 10億7,159万円



造成工事が終了した「男子寮」建設予定地

## 行財政改革

### 事業概要

- 「集中改革プラン」を策定し、事務事業の再編・整理、廃止・統合、経費節減等の財政効果、職員全般にわたる定員管理、給与の適正化等、行政運営の見直しを推進



新年度がスタートした役場庁舎内

## 18年度予算質疑

### 町民号は町民の動向を ふまえて見直すべき

**中津伸一議員** 町民号は、そもそも広野町に特急、急行をとめるために始まったものですが、今では2年に1度、町民の親睦を図るために実施されています。大きな予算をとまなうことから、町民の動向をふまえながら見直す時期にきているのではないですか。

**山田町長** 今回は、町民号実施の年ということで予算を組ませていただきましたが、今後検討します。

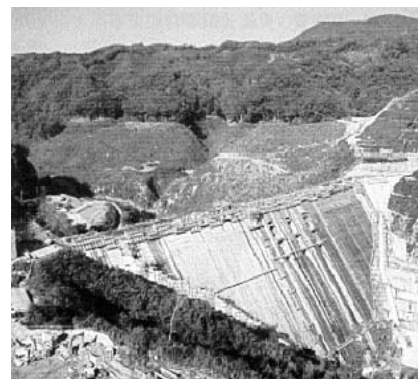
### 水道代が上がることを いつ町民に知らせるの か

**中津伸一議員** 楢葉町に建設中の木戸ダムが完成し供用開始になれば、水道代が今の1・8倍くらいに上がると聞いていますが、町民はそれほど水道料が上がるとは思っていない。徐々に水道代が上がっていくことを町民に周知することも、町長は水道企業団の

### 無料入浴券はいつから いつまで利用 できるのか

**中津伸一議員** リフレッシュ施設無料入浴券を各戸に2枚ずつ配るとのことですが、使用期間はどのくらいですか。

**青木企画グループリーダー** 4月1日以降、早急に無料優待券の準備を進め、来年の3月31日まで使えるようにしたいと思います。



楢葉町に建設中の木戸ダム

理事の1人として、水道代が大きくながらないよう一生懸命努力していただきたい。

**山田町長** 平成20年の4月に向けて18年と19年で協議を進める予定です。詳細な内容が決まりましたいできるだけ早くお知らせします。

# 大切なのは環境整備と高齢者福祉

## 役場庁舎総合案内の場所は適正か

**猪狩新一郎議員** 役場庁舎の正面玄関を入ったところに、総合案内が設けられましたが、庁舎には西玄関も東玄関もあります。そんな中で、どの玄関から入ってきても総合案内が分るように、カウンターの方向に寄せませんか。



窓口付近に移された「総合案内」

**山田町長** 来庁者の便宜をはかるため、現在のところに設置したわけですが、職員といろいろ相談しながら方法を検討してゆきたいと思っています。

## 旧東電入口付近にある植栽の保全を

**塩 史子議員** 下北迫く上北迫線と岩沢荘との間に東京電力㈱広野火力発電所が入口として使用していた道路があります。あそこは桜やツツジ等が植栽してあり、とてもきれいな場所でしたが、東京電力㈱から広野町に所有権が移転してからはぜんぜん手入れがゆき届いていないようですが、整備する考えはありますか。



早急に整備された植栽（旧東電入口）

**黒田総務グループリーダー** 現在、確かに手入れがゆき届いていない状況にありますが、今後は予算の範囲内でできるだけ整備したいと考えています。

## 町民バスの運転手を1年雇用の嘱託職員に

**渡辺久長議員** これまで嘱託職員としていた町民バスの運転手を、なぜ18年度は臨時職員にするのですか。

**黒田総務グループリーダー** 予算上すべて臨時職員という名称で対応しますが、運転手の方については1年雇用ということで運用したいと考えています。

## 町村合併に関する真意はいかに

**渡邊正俊議員** 町長は、施政方針の中で次世代に誇って継承できる広野町をつくって行くと言っていますが、ある月刊誌のインタビュー

で、時代の流れや経済的なことを考えれば合併も考えざるを得ないというようなことを述べたため、多くの町民は合併の方向に進んでいるのかとたいへん心配しています。われわれ議会議員は、定数を減らしてまで広野町をがんばって継続してゆこうという決意ですが、町長の真意を聞かせてください。

**山田町長** 合併については、郡内他町村の動向を見ながらいろいろ検討し、町民のみなさんに相談して進めてゆきたいと考えています。また、雑誌の件については、今後そういった誤解を受けないよう慎重に対応してゆきます。

## 広野産大豆で味噌をつくって新たな町の特産品に

**中津伸一議員** 町では大豆作付奨励金を出して大豆づくりを奨励していますが、それを加工して味噌までつくり、「広野味噌」といった

特産品として大々的に売り出すような考えはありますか。

**磯辺産業グループリーダー** 味噌を製造するとなれば施設や機械が必要になるためお金もかかります。今後いろいろな機関と調整しながら前向きに検討します。



広野産手づくり豆腐

## 奨学金の貸出範囲拡大を検討すべき

**新妻良平議員** 奨学金の貸与は4年制大学に進学する場合のみを対象としていますが、4年制大学に限らず、専修学校等も含め各種専門学校等に進む子供にも枠を広げ、さらに入学資金として入学時にも奨学金を貸与できませんか。

**鯨岡教育長職務代理者** 奨学金の貸与は4年制・6年制大学を対象としており、ひと月あたり10万円を限度に貸与しています。最近では専門学校等に進学する方からも問い合わせがありますので、枠を拡

大して今後貸与する方向で協議したいと考えています。

## 高齢者に安全・安心な生活道路の提供を

**猪狩新一郎議員** 未整備の生活道路については、道路の拡幅ができないのであれば舗装だけでもできませんか。

**賀沢建設グループリーダー** 用地の取得が難しい道路については、そこに居住している方々の生活道路を確保する観点からそのまま舗装することもやむを得ないということの一部予算を計上しています。ただし、それが永久的なものになってしまっておそれもあるのでは、なお慎重に検討したいと思っています。

**中津伸一議員** 町長自ら用地交渉することも視野に入れ、みんなで力を合わせ、一生懸命用地交渉してください。

**賀沢建設グループリーダー** 道路の拡幅計画をして以来、交渉はしておりますし、機会あるごとにお話もしておりますが、なかなか原道舗装さえも難しい状況です。今後とも地権者さんの考えを十分ふまえた中で進めてゆきたいと考えています。

## 古い住宅地における防災体制の確保を

**鈴木正範議員** 道路が狭い上にその先がゆき止まりになっているところについては、入口部分で火災などがあつた場合、住んでいる人たちは避難できません。早急に改善策を検討してもらえませんか。

**山田町長** 道路が狭いということはいろいろな面でたいへんだと私も懸念しています。今後いろいろ勉強して前向きに検討します。



苗代替地区

## 中学生海外派遣事業の再開に向け鋭意努力を

**中津伸一議員** 海外派遣事業調査費が予算計上されましたが、今後生徒や保護者の意向調査を行うなど、実施に向けて鋭意努力する考えはありますか。

**山田町長** 教育に関しては大事な時期にきていると考えています。子供たちの視野を広めるためにも、いろいろな調査をして前向きに考えてゆきたいと思っています。



## 県道「広野～小高線」を町で整備できないか

県道「広野～小高線」(宮田地区)

### 公共下水道の水洗化率は87パーセント

**鈴木正範議員** 公共下水道の対象エリア内にある戸数と、現在までの普及率を教えてください。

**賀沢建設グループリーダー** 対象エリア内にある戸数は1,250戸ほどで、そのうち下水道を利用されていない戸数は160戸です。また、下水道本管に接続している水洗化率は、約87パーセントです。

### 権限委譲されて問題はないのか

**佐川栄蔵議員** 権限委譲交付金は、三位一体改革に関連するものだが、権限を委譲されると自治体はますます財政困難におちいつてしまつて。

今回県から町に委譲された事務件数を、この交付金で処理することとは可能ですか。

**黒田総務グループリーダー** 権限委譲されたのは16件の事務です。また、それに見合う経費として交付されるのが権限委譲交付金ですが、事務費以外にもそれに携わる職員の人件費を考えますと46万円では足りません。

### 行政に対する不公平感をどう払拭するのか

**新妻良平議員** 広野町の下水道普及率は県内一を誇っていますが、公共下水道および農業集落排水の区域以外に住んでいる方々は行政に対して不公平感をいだいています。今後どのような方針で解決してゆく考えですか。

**山田町長** 具体的な考えはまだ定まっていませんが、そういう不公平さを少しでもなくすため、出来ることから検討してゆきます。

### 汚泥をリサイクルした肥料はどこで分けてもらえるのか

**鈴木正範議員** 公共下水道から出た汚泥をリサイクルして、農家や園芸用の肥料にしているという話を聞きました。どこへゆけば分けてもらえることができますか。

**賀沢建設グループリーダー** 広野浄化センターでは1ヶ月に約30トンの汚泥が発生しています。それを大熊町にある広域汚泥処理施設において炭化処理し、園芸用、農業用の肥料として一部販売しています。ただし、町内に住まわ

いる方については現在のところ無料で配布しています。



広域圏汚泥リサイクルセンター (大熊町)

### 介護保険料を上げずに特別養護老人ホームを建設できないか

**中津伸一議員** 広野町が近傍類似の町村の中で最も介護保険料が安くなっているのは施設がないからで、施設ができれば上がるということを町民にも周知すべきだと思います。ただし、介護保険料が上がるから特別養護老人ホームは要らないという理屈にはならないわけですので、町長には特別養護老人ホームの建設については真剣に取り組んでください。

**山田町長** より良い特別養護老人ホームを建設できるような方法を考えてゆきたいと思えます。

## ニッ沼総合公園整備事業費が確定 (公園整備事業完了により予算を減額)

3月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに6特別会計補正予算は、事務事業の確定等による予算の最終調整が多数を占めました。

一般会計では、主にニッ沼総合公園整備事業費の確定ならびに町道整備事業の事業費確定と用地未解決による減額および双葉地方水道企業団負担金等の減額で、特別会計では主に国民健康保険と老人保健の年度末までの保険給付実績見込による医療給付費の減額等の計上でした。

### 17年度3月補正結果 (会計別予算額)

一般会計補正額	46億4,592万円	(補正額 △7,296万円)
国民健康保険特別会計	5億6,514万円	(補正額 △4,183万円)
土地開発事業特別会計	2,044万円	(補正額 36万円)
老人保健特別会計	6億6,713万円	(補正額 △1,961万円)
公共下水道事業特別会計	2億3,349万円	(補正額 △234万円)
農業集落排水事業特別会計	3,329万円	(補正額 △203万円)
介護保険特別会計補正額	2億3,919万円	(補正額 △2,051万円)

### 3月補正の主な内容

- 財政調整基金積立金 1億1,635万円
- 双葉地方水道企業団負担金 △2,072万円
- ニッ沼総合公園整備事業 △1,950万円
- 道路新設改良費 △1億1,973万円



整備事業が完了したニッ沼総合公園

## 3月定例会質疑

少子化を防ぐために深刻な嫁不足の解消に全力を

**中津伸一議員** 町は少子化対策としてさまざまな子育て支援の方策を打っていますが、それでも少子化に歯止めがかかっていません。結婚するカップルを増やすような大々的なイベントを行う考えはありませんか。

**山田町長** まったくそのとおりです。今後一生懸命検討しながら、やってゆきたいと思います。

## 特別職報酬等審議会を開いて見直すべき

**塩 史子議員** 特別職の費用弁償については、財政難のために減額している自治体がかなりありますが、他町村の状況を調査して見直すべきではありませんか。

**黒田総務グループリーダー** 最近減額して見直しをはかっている自治体も出てきていますので、近隣町村の状況等を調査するとともに上司と協議します。



雨天でも安心「ふれあいドーム」

## 町長は高齢者福祉をどう考えているのか

**中津伸一議員** 町長は昨年の12月議会で、特別養護老人ホームについては小学校のころには建設しないと回答しましたが、今回、施政方針の中で国・県の指導のもと、本町独自の特別養護老人ホームの建設について検討すると報告しましたが、その中身について、場所はどこなのか、もっと具体的に教えてください。

**山田町長** 私の考えを訂正しながら前向きに考えてゆきたいと思えます。



特別養護老人ホームは小学校北側で決まりか

## 国民保護協議会条例制定の目的は何か

**猪狩新一郎議員** 条例制定の目的に武力攻撃事態という言葉がありますが、どのような攻撃を想定しているのですか。また、実際に相手が武器を持って攻撃してきた場合、協議会で対応できるのですか。

**水野福祉環境グループリーダー** 武力攻撃や大規模なテロなどが発生した場合に、国民の生命、身体および財産を保護するための法律に基づく条例で、実際に攻撃を受けた場合に、町から国および県に連絡して対応を協議するマニュアルのようなものです。

## 行政や政治は弱者に光を当てなければならぬ

**中津伸一議員** 特別養護老人ホームの建設について真剣に考えているなら、弱者に光を当て、お金が多量に足りなくても高齢者が本当に安心して入っていられるような施設を整備しなければならぬと考えますが、どう考えていますか。

**山田町長** それは今後の課題ではないかと思っていますので、これ

からいろいろと町独自の方法を考えてゆきたいと思っています。

## 受益者分担金は状況を見きわめて賦課すべき

**中津伸一議員** 公共下水道の受益者分担金は、土地面積に応じて課されていますが、宅地でない部分にも課せられているから払わないという意見も聞かれます。現地の状況をよく見きわめてから賦課すべきではありませんか。

**賀沢建設グループリーダー** 受益者分担金については、すべての方から公平に徴収するために一定のルールを設けています。宅地が1筆のものは、宅地として分担金をいただきますが、実質的に広い宅地で一部が畑などになっている場合は、分筆して地目を替えていただくようお願いしています。

## ふれあいドームは子供たちに優先的に開放すべき

**塩 史子議員** ニツ沼総合公園に新設された「ふれあいドーム」にゲートボール場ができるということですが、ここは子供たちが雨天の時でも自由に遊ぶことができる

## 広野町振興公社が果たしている役割を認識すべき

**中津伸一議員** 広野町振興公社はニツ沼総合公園の管理はもとより、学校給食まで扱っているわけですから、指定管理者制度ができたららといって簡単に民営化できるような問題ではないと思います。子供たちの食の安全を守る上でも振興公社の位置づけというものをもう一度よく協議して、しっかりした対応をとっていただきたいと思っています。

**山田町長** 私も簡単にいくようなものではないと考えていますが、職員ともども振興公社で管理・運営していただける方法を一生懸命考えます。



いちご栽培をしているフラワーパーク

## なぜニツ沼総合公園だけが1年契約なのか

**猪狩新一郎議員** 今回、町施設の管理運営を指定管理者に委託するにあたり、老人福祉センターや老人デイサービスセンターなどは委託契約期間が3年であるのに対し、ニツ沼総合公園の委託期間は1年になっています。

パークゴルフ場の「芝」、フラワーパークの「いちご」など、そのほかにも時期を考慮し継続して管理すべきものがたくさんあると思います。なぜ、ニツ沼総合公園だけが1年契約なのか、理由を説明してください。

**青木企画グループリーダー** 公園内の施設については、振興公社以外の企業でも指定管理者になれるよう、今回指定期間を1年としました。

## 議会を傍聴してみませんか

「議会だより」は、議会での審議をできる限り皆様に伝えるため、審議の内容を抜粋・要約して掲載しています。次の定例会は6月です。傍聴の手続きは、議会事務局で住所と氏名を記入するだけです。関心のある方はぜひ傍聴にお越しください。

【お問い合わせは広野町議会事務局まで 電話0240(27)4165】



# 第1回臨時会

2月10日に平成18年第1回臨時会が招集され、1日の会期で開かれました。ここでは、「工事請負契約の変更契約」について、提出された3議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

## 中央台〜山ノ神線 道路新設（3工区）工事

岩盤線が当初計画時よりも下方に位置していたことから現場内で発生する土量が減少したため、現場外から土を採取する契約を変更しました。

〔変更契約の金額〕  
1億25万円（50万円増）

〔契約の相手方〕

堀江・西本特定建設工事共同企業体

## 中央台〜山ノ神線 道路新設（4工区）工事

岩盤線が当初計画時よりも下方に位置していたことから現場内で発生する土量が減少し、当初3工区へ流用する予定だった土砂を流

用できなくなったため、契約を変更しました。

〔変更契約の金額〕

1億192万円（△832万円）

〔契約の相手方〕

田中・五社山特定建設工事共同企業体

## 二ツ沼総合公園整備工事 （その2）の宿泊棟改修工事

当該建物が築40年近く経過しているため、外壁の一部が劣化著しいことから、補強補修工事を実施するため、契約を変更しました。

〔変更契約の金額〕

1億582万円（292万円増）

〔契約の相手方〕

横山・五社山特定建設工事共同企業体

# 委員会報告

平成18年第4回定例会において、各委員会委員長より第4回定例会（平成17年12月）以降の所管事務調査について報告がありました。

## 議会運営委員会

開催日 平成18年1月13日  
3月8日

- 委員長 猪狩 新一郎
- 副委員長 松本 浩司
- 委員 中津 伸一
- 委員 塩田 史子
- 委員 渡邊 正俊

平成18年度議会費予算（案）の審議ならびに平成18年第1回定例会の日程および提出予定議案等の内容を審議しました。

## 具体的な地域振興策を要望 総務常任委員会

- 開催日 平成18年2月6日
- 委員長 司 範一郎
  - 委員 浩正 伸 新一郎
  - 委員 本木 津 狩 本
  - 委員 松鈴 中 猪 坂
  - 副委員長 長 員 員
  - 副委員長 委 委 委

## 調査の結果

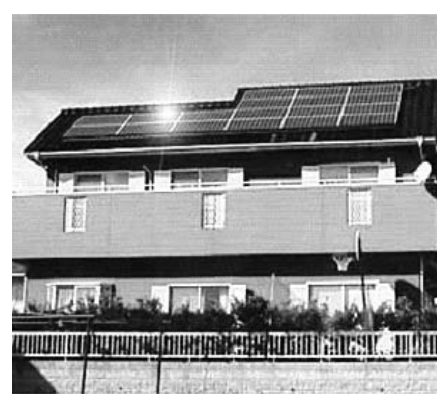
### (1) 相双地域観光拠点整備事業

現在、二ツ沼総合公園で実施されている5件の工事について、進捗状況の説明があった。予定どおり完成する見通しである。

ただし、二ツ沼総合公園整備工事のうち宿泊施設工事については、昭和44年に福島県が伝習農場の女子寮として建設したもので、築40年近く経過していることから、梁鉄骨の老朽化による劣化が著しいため、補修工事が発生した

# 追跡人跡

**あの質問 どうなった？**  
議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。



3.24キロワットシステム施工例

**新エネルギーシステムを導入する個人に対し、町として「補助制度」を導入すべし**

平成17年6月議会（一般質問）

## 質問の概要

地球温暖化防止の観点から、自然エネルギーを有効に活用する必要がある。太陽光発電システム等の普及促進をはかる上でも同システムを導入する個人を対象に「補助制度」を設け、補助金を交付すべきと考える。

## 地域一体で取り組みたい

〔答弁〕 新エネルギーシステムの導入にあたっては、「広野町地域新エネルギービジョン」の方針に基づき、地域一体となった取り組みを進めていきたい。

## 設置者に最大で12万円補助

〔結果〕 平成18年4月1日から、町内の住宅に太陽光発電システムを設置する方に対し、申請により3万円（出力1キロワット）から最大で12万円（出力4キロワット）の補助金を交付します。

また、太陽熱利用システムを設置する方には、(財)新エネルギー財団による補助金もあります。

## (2) 第二次広野町町勢振興計画の経過と展望

交流人口の増加による地域振興を図るための具体的な方策を立案すること。

旨の報告があった。

また、平成18年度においては、宿泊施設をサッカーによる国際人育成支援事業のために、JFAアカデミー福島による生徒に開放したい旨の説明があった。加えて、本事業は学校教育の一環であり、地域振興につながる事業であることから、利用料金を6割減免したい旨の説明もあった。

当委員会としては、これらの説明に対し、左記のとおり提言した。

①昭和の時代より現代まで、町が整備した事業について、事業費を含む整備内容を町民に対し報告すること。

②二ツ沼総合公園整備は、莫大な事業費を投入して行ったので、

振興計画見直しにあたっての基本方針と今後の進め方について説明を受け、見直し業務が遅れている旨の説明があった。「ひろの創造プラン21」の6つの重点目標を基本に策定当時の社会経済情勢の変化を検討するとともに、これらの変化に対応する実現可能な見直しをすべきである。特に少子高齢化がもたらす社会環境変化に注目すべきと提言した。



パークゴルフを楽しむ子供たち



じょうずにお返事できました（保育所入所式）

## 「幼保一元化」の実現を要望

### 文教厚生常任委員会

開催日 平成 18 年 2 月 7 日

委員長 塩 史 子  
副委員長 黒 田 政 徳  
委員 鈴 木 紀 昭  
委員 小 磯 利 雄

## 合併処理浄化槽の整備促進を

### 産業常任委員会

開催日 平成 18 年 2 月 7 日

委員長 渡 邊 正 俊  
副委員長 新 妻 良 平  
委員 佐 川 栄 蔵  
委員 渡 辺 久 長

### 調査の結果

#### (1) 平成18年度産米の生産目標

平成18年度産米の生産調整推進概要について、産業グループリーダーより説明があった。それによると、本町における平成18年度の生産目標数量は1万5,513俵、作付可能面積は194.3ヘクタールと昨年より数量で336俵、面積で4.6ヘクタールそれぞれ減となっている。また、町内稲作農家に生産目標数量を配分する方法の概要が示された。

耕作水田面積20アール未満の飯米農家と認定農業者、2ヘクタール以上を耕作する担い手農家には、それぞれ傾斜配分をして優遇措置をとったものとなっている。当委員会としてはこれらの内容について異論はないものの、米価下落傾向が続く中で新たな動きが見られる有機農業に対する助成制度の検討と、加工用米に対する補助金制度の見直しを併せて検討するよう要望した。



中央台～山ノ神線現地調査

#### (2) 中央台～山ノ神線工事進捗状況

1工区から4工区までの全工区について計画通りの進捗率である。

り、契約工期内に竣工する見込みであることが報告された。また、各工区とも設計変更が生じているが、その内容等についても説明があり、現地調査を実施して状況を確認した。今後、工事が竣工して供用開始をする際には、安全施設の整備等には万全を期して供用すると共に、盛土法面崩壊を予防するためにも排水施設の管理を徹底するよう要望した。

#### (3) 下水道の普及状況

町内の公共下水道事業、農業集落排水事業、それらの計画がなされていない地域に適用される合併処理浄化槽設置補助金事業の現状について報告がされた。

本町における集合処理施設の整備率は県内でもトップクラスである。しかし、未だ施設へ接続されていない戸数が約200戸、合併浄化槽の設置整備がされていない戸数が160戸余ある。

こうした状況の中で、今後、特に合併浄化槽の整備促進を図る必要性から、補助金制度の見直し案が示された。当委員会としては、快適な生活



未整備の生活道路

#### (4) 生活道路現道舗装事業

町道に認定され、拡幅改良計画が示されても用地問題等が解決されずに長年放置されてきた道路や、生活道路として利用されてきた農道や河川の堤防等を、簡易舗装工事を実施して地区住民の生活道路の確保を図る事業を新たに推進する旨の説明がされた。

当委員会としては、これらの状況をさらに調査して、住民の日常生活に必要な生活道路については早急に整備し、住民福祉の向上に寄与すべきであると強く要望した。

### 調査の結果

#### (1) 特別養護老人ホームのあり方

特別養護老人ホームは、小学校の北側に建設が予定されていますが、計画では鉄筋コンクリート平屋建、面積3,650平方メートルの施設規模になっており、定員は入所35人、短期入所15人の計50人で、介護が必要な状態になっても家に居るときと同じような生活が営めるよう「ユニットケア」を採用し、5つのユニット全てが基本的にユニバーサルデザインで設計されています。

また、各ユニットは、1ユニットごと10人単位で形成され、家庭的な雰囲気の中でも高齢者の尊厳が保たれるよう全室個室とし、それぞれが、トイレ、洗面付きの洋室仕様になっているほか、浴室、脱衣室、トイレ、汚物倉庫なども併設されています。

町としては、計画の実現には多額の工費を要するほか、地質調査費、敷地造成費、備品購入費、進入道路整備費等の費用も新たに

必要になることから、当初の計画を見直し、町の財政等を考慮しながら、財源の確保に努めたいということでした。当委員会としては、今回示された基本設計には問題部分が多数あることから、当該箇所の問題点をこと細かに指摘し、設計を変更するよう要望しました。

#### (2) 平成17年度広野町保育所の入所状況

保育所では、就学前児童数が減少する中で、平成13年度から新たに0才児保育を導入し、働く親の子育てを支援していますが、入所児童数の推移については、定員60人に対し、64人、68人程度が入所しているため、平成13年、17年まではほぼ横ばいの状況であり、平成18年度の入所見込みについても同様ということでした。

また、保育時間は午前8時から午後4時（土曜日は午後0時）までとなつていますが、午前7時30分から8時までの30分と午後4時から6時までの2時間は、時間外保育を実施しており、半数以上にあたる42人の児童が利用している状況です。

### お待ちしております

「議会活動」または「議会だより」について、皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

TEL : 0240-27-4165

FAX : 0240-27-4167

e-mail : gikai@town.hirono.fukushima.jp

本委員会としては、子育て支援の観点から、保護者のニーズに合わせた夜間保育の実施や保育料の軽減などについて提言するとともに、幼保一元化についても国の動向をふまえ、実現するよう要望しました。

# 対住民を意識した円滑な議会運営を

～議会運営委員会 沖縄・竹富町視察研修～

地方分権が進んでいる今日、行政サービスを担っている町村の役割は、その重要性を増しています。そして、交通や通信の発達により、町村の区域を超えた生活、行政事業等、広域的な課題や行政のあり方については、避けて通れない問題になっています。

今回の研修にあたっては、広域な島々からなる沖縄県竹富町議会に着目し、その構成、組織、情報伝達等、議会運営にかかわる事項について、調査・研修しました。

また、これにあわせて、本町が平成17年2月に策定した新エネルギービジョンに関連して、日本一のソーラーパネル施設を持つ沖縄新工ネ開発(株)宮古エネトピア管理事務所を訪問し、新エネルギーへの理解を深めました。

## 研修の概要

### (1) 竹富町

竹富町は、沖縄本島から西南に450キロメートル、琉球列島の最南端である八重山諸島に属し、県内で2番目に大きい西表(いりおもて)島をはじめとして、日本最南端の有人島・波照間(はてるま)島、島全体が「町並み保存地区」に指定されている竹富島、「牛の島」といわれる黒島、オニイトマキエイ(通称「マンタ」と出会



竹富町議会運営研修

える小浜島など、石垣島の南西に点在する16の島々(有人島9、無人島7)からなります。

町の人口は4,036人で、世帯数は2,074戸、主な産業はサービス業(観光)、農業(畜産・サトウキビ・トロピカルフルーツ)、商業、建設業の順になっていますが、町の総面積333.97平方キロメートルのうち、9割は国有地のため、温暖な気候や自然を求めてIターンする人が多くいます。

また、その経済や交通の中心は行政領域の異なる石垣市にあるため、住民の利便性を考慮して同市内石垣港の近くに町役場が設置されています。

このため、町3役と役場職員の大半は、竹富町からでは通勤が困難なことから石垣市で生活し、議会議員は各島々で生活して地域の代表として活動しています。これについては、役場内に移転対策室を設けて西表島への庁舎移転を検討していますが、進展はないということです。

一方、町の組織・財政は、収入役不在の3役と3出張所、職員143人で組織され、一般会計の歳

入は交付金等の依存財源が約37億円と予算全体の約80パーセントを占め、歳出の主なるものは、農林水産費、教育費、総務費、衛生費となっています。

### (2) 沖縄新工ネ開発株式会社

また、議員数13人(法定数14人)で、2常任委員会と議会運営委員会の3委員会を構成し、本会議制をとっていますが、3月・9月の予算、決算議会は、委員会付託とし、議員は石垣市に3日から15日くらい宿泊することです。

一般質問は、通告制を採用して発言時間を30分に制限していますが、発言の内容はもっぱら自分の島の諸問題になることが多いようです。

また、議会広報については、一般質問および会議録等はインターネットで閲覧できるほか、地元の新聞社が議会内容を報道しているため、発行していないということでした。

宮古エネトピア管理事務所は、宮古島に総事業費20億円をかけて建設された7基の風力発電システム(2,800キロワット)と太陽光発電システム(750キロワット)をもとに、その両方を組み合わせた発電システムの実用化に向け、運転特性の把握や蓄電池の有無による系統への影響、制御調査システムの有効性、寿命、評価等について、実験や研究を行っているところだ。

そのうち、太陽光発電システムについては、面積1・8ヘクタールの敷地に1,100枚の太陽光パネルが敷かれ、蓄電池容量3,058キロワット、交流出力3相6・6キロボルト規模のものが設置されています。

また、電力貯蔵システムとしてNAS電池(ナトリウム、硫黄)を使用し、蓄電の研究も行われています。



宮古エネトピアにて研修

要の4割を太陽光および風力発電でまかなう構想を持っていましたが、電気料を通常の3倍〜4倍の料金に設定しなければ採算ベースにならないため、より高性能で安価な設備の開発がされるまでは、整備が進まないということでした。

- 17日 双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚生常任委員会・総務常任委員会
- 20日 広野町議会議員定数に関する調査特別委員会
- 21日 福島県浜通り地域総合開発推進懇談会総会
- 22日 双葉地方町議会定期総会
- 23日 双葉地方広域市町村圏組合議会運営委員会
- 27日 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会
- 28日 双葉地方水道企業団議会定例会

- 1日 広野町議会議員定数に関する調査特別委員会
- 8日 双葉地方電源地域政策協議会と東京電力㈱との意見交換会
- 10日 議会運営委員会
- 10日 第1回定例会
- 13日 中学校卒業式
- 17日 幼稚園修了式
- 23日 小学校卒業式
- 27日 保育所修了式
- 30日 広報委員会
- 小・中教職員合同離任式

## 議会日誌

- 4日 成人式
- 9日 双葉消防本部出初式
- 9日 広報委員会
- 9日 議会運営委員会視察研修
- 13日 議会運営委員会
- 13日 広報委員会
- 15日 消防団・婦人消防隊出初式
- 16日 双葉地方電源地域政策協議会
- 17日 自治功労表彰式
- 17日 新春交歓会
- 18日 広野町議会議員定数に関する調査特別委員会
- 20日 老人クラブ新年会
- 23日 総務常任委員会視察研修事前説明会
- 26日 総務常任委員会研修
- 26日 双葉地方町議会議員会
- 27日 双葉地方町議会議員会
- 2日 双葉地方町議会事務局職員研修会
- 6日 総務常任委員会
- 7日 産業常任委員会
- 7日 文教厚生常任委員会
- 10日 第1回臨時議会
- 10日 双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会



多くの緑に囲まれ広々とした校舎

生であるイアン・モラー・ネルソン氏と会談の場を設け、持参した東京電力(株)広野火力発電所とJヴィレッジの英語パンフレットを基にわが町の紹介やオーストラリア産の石炭を通じたわが町とオーストラリアとのつながり等について説明するとともに、わが町の中学生が同校を訪問した場合における英語学習やアクティビティー等について、実現の可能性を含め質疑しました。

また、校長先生の案内のもと校内や授業風景等を見て回りましたが、校内は敷地が広いせいか全て平屋建てで、いくつにも分かれている校舎は連絡通路で結ばれていることでした。

### (3) ホストファミリー宅 (ホームステイ受け入れ先の一例)

今回、中学生を派遣した場合のホームステイ先の一例として紹介されたのは、デイビッド・レンチとダイアン・レンチのランチ夫妻の住宅でした。

日本人の生徒について印象をたずねてみたところ、日本の生徒は大変マナーが良く礼儀正しいが、多くは自然や動物に慣れ親しんでいないため、その当たりから両国の文化の違い等について教えてい



きれいに整理されたゲストルーム

ました。授業風景も低学年から高学年までひと通り見て回りましたが、どのクラスでも2人の先生が共同で授業を行っており、日本の小学校における授業風景とは違った印象を受けました。

また、各教室内の生徒たちや途中でゆき交う生徒や保護者も笑顔で挨拶を交わして迎えてくれるなど、オーストラリア人が気さくな人柄であることを伺い知ることができました。

### (4) アクティビティー

今回、中学生を派遣した場合のホームステイ先の一例として紹介されたのは、デイビッド・レンチとダイアン・レンチのランチ夫妻の住宅でした。

## 研修の概要

### (1) ケアンズ

ケアンズ市は、海と山に囲まれた人口13万3千人の地方都市で、日本からは約6,000キロメートル南に位置し、日本・アメリカ・ヨーロッパなどから年間約200万人の観光客が訪れる日本から1番近いオーストラリアのリゾート地です。

ケアンズ市内は、車で2時間ほどあれば十分に回れる大きさですが、一歩街を出ると美しい自然やアクティビティーが目白押しです。

代表的なものとしては、世界遺産に指定されているグレートバリアリーフや世界最古の熱帯雨林をはじめ、トロリーング、フィッシング、ダイビングといったマリンスポーツや、乗馬、ゴルフ、コアラやカンガルーのいる動物園、熱気球、ラフティング、バンジージャンプなどがあります。

また、ケアンズは多くの日本人観光客が訪れるということもあり、現地の人は日本人に好意的で、



学校長にあいさつする松本委員長

### (2) トリニティービーチ・ステート・スクール

今回訪問したトリニティービーチ・ステート・スクールは、クイーンズランド州立の小学校でした。オーストラリアの学校教育は、小学校7年間、中・高等学校5年間で、15歳までが義務教育、大学など高等教育機関に進学するためには、引き続き第12学年までの2年間の修了が必須となっています。同校の訪問に際しては、校長先

## まとめ

今回の視察研修は、あくまで中学生海外派遣事業の再開と人事交流を視野に入れた当委員会独自の調査ということでしたが、現地の授業風景やアクティビティー等を視察するにつれ、当初予想したとおり、わが町の派遣事業に適した場所であることが理解できました。

まず、何と言っても治安の問題ですが、オーストラリアは元来、アメリカ等と違って銃の所持が認められていないため、突然銃で撃たれるという心配はありません。し、中でもケアンズ市は、中心市街地を除けば小さな田舎町といった雰囲気なので、よほど自分から危険な場所に足をふみ入れない限り、犯罪に巻き込まれる危険性は極めて低いように思われます。また、年間を通して温暖な気候



## 中学生海外派遣事業の早期再開を検討すべき

～総務常任委員会 オーストラリア・ケアンズ視察研修～

中学生海外教育交流派遣事業は、次代を担う中学生を海外に派遣し、訪問国の教育・文化・歴史・生活・風土等に接することにより、諸外国に対する理解と国際協調の精神を養成し、広い視野に立って考える青少年の育成を図ることを目的に、平成9年度から実施されていたものです。現在は、アメリカで起きた同時多発テロ事件並びにSARS等の影響により休止している状況にありますが、この事業は広野町が全国に誇れる日本一の事業であり、今もってなお再開を望む意見が多いことをふまえれば、これからの中学生にも同様の機会を与えることが、行政の果たすべき役割ではないかと考えます。そこで、今回の委員会研修にあつては、当該事業の再開と人事交流を視野に入れ、現地での英語学習やアクティビティー（現地の自然や文化に親しみ、人々との交流を図る課外活動のこと。）といった教育環境、ホームステイを実施する場合の住環境や社会情勢・治安など、その受け入れ体制等について調査し、当該事業再開に向けた提言を行なうため、費用対効果の観点からも派遣先として最も適していると思われるオーストラリア・ケアンズ市を視察研修しました。



まもなく田植えの時期をむかえる町内（下浅見川地区）

**問** (1) ニッ沼総合公園の利用促進について

3年間かけた相双地域観光拠点整備事業が今年度で完了します。今後は多くの人に施設を利用していただくべく、全体の活性化をはかり、町財政の負担軽減に努めるべきかと考えます。特にリフレッシュ施設については利用者が少ないと聞いていますが、今後どのように利用者を増やして収益を確保するのかが、町長の考えを伺います。



塩 史子 議員

## 町財政の負担軽減に努めるべき

施設管理運営費の軽減に努めたい…町長

# 町政を問う 一般質問

**答** 山田町長

(1) ニッ沼総合公園の利活用については、「地域の活力は交流人口にある」といわれるように、地域経済の発展をうながすうえでも、交流人口の拡大は、何にもまして重要です。また、パークゴルフの導入によって新しい交流人口も生まれており、高速道路ネットワークやJヴィレッジの交流人口など、公園の持つ優位性を最大限に活かす、相双地域の南玄関口にふさわしい広域観光拠点施設として、既存施設を活用した機能の拡充に努め、多くの方々へ施設を利用し、

(2) 農業の振興について

広野町は温暖な気候に恵まれ、大豆、小麦、そば、かぼちゃ、ブロッコリーなど、なんでも栽培できる土地柄です。一方、干し椎茸は、長い間、町の特産品として位置づけられていますが、後継者不足により先細りになっています。農家所得の向上をはかるためにも、これに替わる地場特産品をつくる必要があると考えますが、町長の考えを伺います。



遠赤外線効果のあるお風呂

具体的には、①パークゴルフ場の利活用を図るため、町内外を問わずオープン参加による大会を月1回程度の実施 ②本年9月に開催するパークゴルフ東北交流大会等の全国規模の大会の誘致 ③町ホームページによる新たなニッ沼総合公園のPRおよびイベント情報の発信等の施策を進め、常に利用者の立場に立った公園運営を行うっていきたくと考えています。

一方、リフレッシュ施設の利用増については、当施設で使用している麦飯石が漢方薬石として人体に必要なミネラルを含み、遠赤外線効果があることを広くPRします。さらに、現在のリフレッシュ施設の利用状況を見ると町内の利用者より町外の利用者が多い状況ですので、町民の健康増進をはかることも大きな事業目的であることから、18年度については利用期限を延長した無料入浴券の配付を行うとともに、回数券の販売等、利用者の拡大に向けたサービスを展開していきたくと考えています。

に恵まれ、日本との時差も1時間しかないため、現地に到着した時から生活のリズムを崩すことなく過ごすことが出来ますし、日本と比べて生活必需品等の物価も安く、ホームステイもビジネス化されていないことから、アットホームな環境で費用を安く抑えることが可能です。

結果的に、ケアンズは親日家が非常に多い土地柄であり、教育分野でも積極的に日本語教育が行われ、日本人の体験入学に対しても受け入れ期間の多様性や教職員の手配体制の充実ぶりを理解することができました。

前述した研修目的にもあるように、次代を担う中学生を海外に派遣し、諸外国に対する理解や国際協調の精神を養成し、広い視野に立つて考える青少年の育成をはかることは重要な事業であり、今回訪問したケアンズは、その目的を十分達成できうるポテンシャル(地域に潜在する総合力)を十分兼ね備えているように思われました。

これらを受け、当委員会は中学生海外派遣事業の早期再開に向けて、検討に着手すべきと提言するものです。

## ひろの議会だより 議会広報全国コンクール「奨励賞」受賞



第20回(平成17年度)町村議会広報全国コンクールで、ひろの議会だより(第86号)が奨励賞(企画部門)を受賞しました。

この全国コンクールは、各町村で過去1年間(平成16年7月~平成17年6月)に発行した議会広報紙(1町村1作品)を対象にしたもので、全国から267作品の応募があり、最優秀賞1、優秀賞5、入選10、奨励賞25作品が選ばれました。

福島県では、過去に塩川町(現喜多方市)が第10回と第15回に同じ奨励賞を受賞しており、今回が3度目です。

議会広報委員会では、今後もより良い紙面作成のため鋭意努力してまいりますので、議会だよりを閲覧いただき、ご意見・ご感想をお寄せください。

### (第20回町村議会広報全国コンクール入賞作品)

最優秀賞(会長賞)	あいら議会だより	鹿児島県始良町議会
優秀賞(中央文化社賞)	議会だより かねがさき	岩手県金ケ崎町議会
優秀賞	議会だより「対話」	宮城県大和町議会
	議会だより たかちほ	宮崎県高千穂町議会
	ながいずみ議会だより	静岡県長泉町議会
	はりま議会だより	兵庫県播磨町議会
入選	やはば議会だより	岩手県矢巾町議会
	しずくいし議会だより	岩手県雫石町議会
	かつぬま議会広報	山梨県勝沼町議会
	おおぐち議会だより	愛知県大口町議会
	議会だより うれしの	旧佐賀県嬉野町議会
	南山城村	京都府南山城村議会
	吉岡町議会だより	群馬県吉岡町議会
	議会だより みわ	愛知県美和町議会
	AKAGI ぎかいだより	群馬県赤城村議会
	つばた議会だより	石川県津幡町議会
奨励賞(企画部門)	議会だよりあしろ	岩手県安代町議会
	まえさわ議会だより	岩手県前沢町議会
	ひろの議会だより	福島県広野町議会
	志賀町議会だより	石川県志賀町議会
	音羽町議会だより	愛知県音羽町議会
	議会だより こうづき	兵庫県上月町議会
	おち町議会だより	高知県越知町議会
(文章・表記部門)	唐桑町議会だより	宮城県唐桑町議会
	議会だより ogawa	埼玉県小川町議会
	内灘町議会だより	石川県内灘町議会
	よしだ 議会だより	静岡県吉田町議会
	かもがた議会だより	岡山県鴨方町議会
	おおさき議会だより	鹿児島県大崎町議会
	北中城村議会だより	沖縄県北中城村議会
(写真部門)	女満別町議会だより	北海道女満別町議会
	議会だより	北海道音更町議会
	ふじさわ議会だより	岩手県藤沢町議会
	はくば議会だより	長野県白馬村議会
	あむ(阿東町議会広報)	山口県阿東町議会
	議会だより 秀峰	高知県大豊町議会
	五木村議会だより やまめ	熊本県五木村議会
(デザイン部門)	伊香保町議会だより	群馬県伊香保町議会
	おおいずみ議会だより	群馬県大泉町議会
	みんなの町議会	広島県神石高原町議会
	清 水	熊本県益城町議会

## 適正な職員定数管理と予算編成を

定員抑制と健全な財政運営に努めたい…町長



松本 浩司 議員

言うまでもなく、公園は収益施設ではなく憩いの場所です。町民が当施設を利用し健康で過ごせれば医療費の削減がはかられ、それらもまた、町財政の負担軽減にもつながると思われまます。今後は、指定管理者制度の有効活用を検討し、施設管理運営費の負担軽減に努めてまいります。

(2) 本町の農業を取り巻く環境は、私から申し上げるまでもなく、主要作物である米価の下落や従事者の高齢化とともに、担い手不足など厳しい状況にあります。

このような中、現在、相双地区振興作物として「かぼちゃ」や「プロッコリー」を推進し、農業の振興に努めているところです。また、特産品については、ご指摘のとおり干し椎茸の生産者も減少し、需要に応じた生産量の確保が困難になるなど、特産品とは言い難い状況にあり、新たな特産品の開発が大きな課題の一つでもあります。

今年度で二ツ沼総合公園のハード整備はおおむね達成されましたので、今後は地域振興の観点からも交流人口を呼び込むために、地域の独自性にこだわった特産品の開発を検討したいと考えています。

者負担を図るため使用料等の見直しによる財源の確保により、収支の均衡をはかり健全な財政運営に努めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

(2) 4月から人材育成プログラム支援事業による「中高一貫教育」がスタートし、全国から選抜された17人の男子生徒が広野中学校に入学します。

入学する生徒は、地元の生徒と同じのクラスに席を置き、3クラスによる学級編成がなされます。また、同生徒は、毎週木曜日の5校時・6校時は場所を移動して体育(サッカー)の授業となります。



JFAアカデミー福島男子生徒専用練習場「広野町サッカー場」

が、地元生徒については従来どおりの授業時間割が組まれます。これについては、今後、新たな事業が展開される場合は、事前説明と情報の提供をおこなう必要があると考えています。

次に、町長としての教育行政の基本的スタンスは、都市化や少子化、地域社会における人間関係の希薄化などが進む中、「命を大切にする心」や「思いやりの心」などの倫理観や規範意識、公共心など、子ども一人ひとりに豊かな人間性や社会性を育てることを基本にしたいと考えています。

(3) 障害福祉計画につきまして、障害者自立支援法の基本指針をふまえ、平成23年度までの新サービス体系への移行を念頭におきながら数値目標を設定し、平成18年度中に平成20年度までを第1期とする計画を策定するものです。

ご指摘の障害福祉計画については、平成18年度に作成するために予算計上していますが、作成にあたり、障害者福祉計画策定委員会を設置し、障害者の自立と社会参加を基本とする障害者基本法の理念をふまえ、障害者の生活を地域全体で支えるシステムを実施する

(4) 環境美化条例については、今後環境美化条例をどう評価し、今後どういった対応をするのか、町長としての見解を伺います。

答 山田町長

(1) 職員定数については、今後、さらに厳しい財政状況下で行財政運営を強いられることが予想され、町民サービス・町政運営への影響、さらには地方分権および権限委譲等にもなう業務量をふまえたうえで、組織再編による効率



少し緊張気味の1年生(広野中学校)

ため、地域の社会資源を最大限に活用し、基盤整備を進めていきたいと考えております。

また、実態として、介護されている家族の皆様方は何かと大変と痛感しておりますので、作成にあたっては実体を把握すべく対象家族にアンケートを実施したいと考えています。今後につきましては、地域生活移行や就労支援といった新たな課題に対応して必要となるサービス基盤の計画的な整備を関係機関と連携をはかっていきたいと考えています。

次に、「敬老祝金」ですが、広野町に居住する高齢者に対して長寿を祝福するため、支給を行っているところですが、

平成18年度につきましては、65歳以上1,270人の方々を対象者です。なお、今後支給方法等につきましても、他の市町村の形態・動向を見極めて検討する方向です。

(4) 環境美化条例については、総合的な環境美化の促進を図ることを目的とし、平成7年より実施しているところです。言うまでもなく、ルールを守り、決められた収集日にゴミステーションに出すのが原則ですが、指定以外の袋、可

的な職員配置や事務事業の見直しをはかり、定員の抑制に努めることとします。現在の職員数は、条例定数91名に対し85名で6名の減となっておりますが、町の定員管理計画では、平成22年度までにさらに6名減らし79名とする目標を立て実現に向けて努力をしているところであり、条例定数の削減については、これらの進捗状況を見ながら対応してまいりたいと考えています。

また、予算編成についての基本的な考え方については、収入の根幹をなしている大規模償却資産税が年間2億円ほど減収していくことが見込まれ、加えて三位一体改革の影響により、町の財政状況は大変厳しくなるものと思われまます。一方、歳出については、経費の抑制をはかった予算編成に努めてまいりましたが、施設の老朽化にともなう維持管理経費の増加や公債費、扶助費の義務的経費の増加により歳出規模が拡大しつつあります。

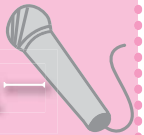
これらの状況をふまえて、今後の予算編成においては、建設事業を含めて全ての事業の抜本的見直しにより支出の抑制をはかることも、国県支出金の確保や諸税収納率の向上、さらには公平な受益

燃物・不燃物の混入など、いまだに守られていない現況にあります。平成10年度より環境美化推進員を委嘱し、町内一円の美化推進に努めているところであり、今後も引き続き実施していきたいと考えています。また、平成13年度に施行された家電リサイクル法により、電化製品の不法投棄が著しく目立ち、景観的にも苦慮しているところです。

これらの処理についても、環境美化推進員により処理しているところであり、新規に整備した各施設のトイレについては、男女を問わず障害者にも配慮しています。なお、今後、環境美化の一環として、パンフレットや広報ひろの等で周知していききたいと考えています。



新設されたトイレ(二ツ沼総合公園)



# 子供たちに「温かさ」を与えたい

4月から、日本サッカー協会による「JFAアカデミー福島(サッカーによる真の国際人育成支援事業)」がスタートしました。

この事業は、将来、日本サッカーを背負って立つ選手を輩出することを目的に、優秀な指導者と専用の寮・練習場など、充実した施設を整えて長期的かつ集中的に選手を育成するとともに、世界基準の人材育成を目指すものです。

広野町では、この事業に参加する中学生と高校生が、慣れない環境下でスムーズな社会生活を送れるように、第2の家族である広野町サポートファミリーを募集しました。そこで今回は、サポートファミリーとして登録された方に応募された動機を伺いました。



鈴木孝一・たか子 夫妻  
上北迫・竹の下

トリノオリンピックでの荒川静香の晴れ姿!そして、まだ記憶に残る王ジャパンの世界大会での選手のドラマ!あの喜びを共有して感激したこと



は忘れられません。世界中の人々を感動させたあの選手も、整った環境と適切な育成指導があればこの栄光に違いありません。

そして、今この地元でも日本サッカーを背負って世界にはばたく選手を育成しようとプロジェクトが動き出したことは、これまで運営してこられた多くの方々の努力にエールを送ります。

大きな夢に向かって育っていく若者を身近にサポートすることは、何ら自分子供と変わりありません。自分の子供

たちも多くの皆さんに助けられ成長してきたはずですから、微力ながら一杯協力します。



高木 幸一さん  
上浅見川・小松

「JFAアカデミー福島」に全国から17人の中学生が参加することを聞き、広野町サポートファミリーとして登録しました。

サッカーに「夢」と「希望」を抱いて広野に来るわけですが、まだ13歳の年頃で見知らぬ土地で生活することは、望んで参加するとはいえ、われわれの年代からすれば大変なことです。

かつて、娘がロータリークラブの交流事業でニューヨークのホストファミリーに1ヶ月お世話になったことがあり、その1ヶ月間の中で言葉や文化の違いはあれ、人の「温かさ」に触れた貴重な経験を持っています。今、アカデミー福島の参加者にサポートファミリーとして「温かさ」を与えられればと思っています。

## 編集後記

議会広報全国コンクール「奨励賞」受賞という喜びと緊張の中での編集委員会でした。

18年第1回定例会、第1回臨時会、そして、議会議員定数に関する調査特別委員会と内容が多く、今までになく時間を費やした編集作業でした。

発言の内容を変えることなく、分りやすさを念頭におきながら編集いたしました。より良い広報紙づくりに専念してまいりますので、ご意見・ご感想をお寄せください。(渡邊)

## 広報委員会

- 議長 坂本 紀一
- 委員長 猪狩新一郎
- 副委員長 塩 史子
- 委員 中津 伸一
- 委員 渡邊 正俊

次の定例会は6月です